

事業計画書

事業名	『母たちのスキルアップ支援』とスキルの活用
実施場所	主に沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2021年4月1日 ～ 2022年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

- 障害を抱える個々の子どもに合う居場所や相談先が少なく、悩みを抱える母達が前向きになれるコミュニティと、親子が安心できる環境づくりをします。
- 子ども達の一番身近な存在である母親が研修を重ね、各種スキルを持つ支援者となります。
- 子ども達の能力を引き出す仕事体験や創作活動を行い、将来の「しごと」や「やりがい」に繋がります。
- アートを通じた交流を行い、障害への理解がある、支え合いのコミュニティを拡げます。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

1. 社会背景や課題

障害を抱える子どもが増える一方で、個々に合った居場所（施設・就労先等）や相談先が圧倒的に少ない状況です。母親達は学校を卒業した後の我が子の人生に不安を感じています。どこにも相談できずにひとりで悩みを抱え、自らが社会から遠ざかるケースもあり、また、受け入れる側の社会においても接点や関心が少なく感じられます。

障害を抱える子どもの子育ての環境は、周囲の理解や支援の体制によって大きく変わります。どのような障害や特性があって何に困っているのかなど、周囲にあまり知られていないことが課題です。

2. 課題解決のために必要だと考えること

悩みを抱える母達が、これまでの経験を認め合い前向きな気持ちになるようなコミュニティと、親子が安心できる支援体制や環境づくりが大切です。周囲に現状を知ってもらい、関心を持ってもらうためには、障害に対する理解が広がる場をつくること、自ら社会活動に参画していくことが必要です。

母親は子どもにとって一番身近な支援者です。子ども達の能力や可能性を引き出す様々なスキルを身につけることは、母達にとっては元気の源や楽しみとなり、子ども達にとっては、やりがいや誰かに必要とされる喜びを感じてもらうことにつながると思います。スキルを活かした地域との交流は、課題解決に必要なノーマライゼーションを拡げる手段になると考えます。障害のある人を特別視するのではなく、誰もが普通の生活を送れる環境を整えて、共に協力しながら生活していける社会を願います。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
毎月第2水曜日	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>1. 【ミーティング】</p> <p>(目的)</p> <p>(1) 事業推進にあたり必要な事項について決定する</p> <p>(2) 母たちが心身共に健康でいるための情報交換や憩いの場づくり</p> <p>(対象)</p> <p>母の会メンバー・他 外部専門家など 10～15名程</p> <p>(会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンウェルぬまづなどの公共施設 ・各家庭(オンライン) <p>(内容)</p> <p>(1) 事業計画(スキルアップ研修や勉強会等)の策定</p> <p>(2) 活動報告</p> <p>(3) 茶話会(気軽に話せる場所を提供)</p> <p style="text-align: center;">* コロナ感染防止対策として、引き続きオンラインミーティングを取り入れていく</p>
通年	<p>2. 【スキルアップ】</p> <p>(目的)</p> <p>(1) それぞれが得意とする分野を学び、スキルアップする (学んだ内容は会の中で共有し、会全体の知識を高める)</p> <p>(2) 子ども達の可能性を見出し、個々の特性と作業をマッチングできる力を身につける(子ども達の将来の仕事に繋げていく)</p> <p>(3) 活動を通じて関係団体等と連携・協力し、取り組みを拡大していく</p> <p>(対象)</p> <p>障害を抱える子どもの保護者</p> <p style="text-align: center;">* 他団体との連携を深める</p> <p>(内容)</p> <p>(1) 勉強会・見学会(*勉強会はオンラインも利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の対応、性教育について【専門家・先輩ママ】 ・後見人、親亡き後について【司法書士・先輩ママ】 ・居場所や習い事(学校・施設・事業所など)について【先輩ママ】 ・就労先について【企業・工場見学】 <p>(2) 講習会(*オンラインも利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成講習(Word/Excel/PowerPoint)(全5回) ・デザイン講習(Illustrator/Photoshop)(全5回) ・手芸講習(染め物・編み物・刺繍など)(全5回) <p style="text-align: center;">* アート・雇用などに関する専門分野の情報をより多く収集しつつ、連携できる外部専門家を増やしていく。</p>

3. 【創作・体験活動】

(目的)

- (1) 様々な体験から、個々に合った作業などを発見・発掘する
- (2) 視覚・聴覚・嗅覚・触覚など心地の良いものに触れることで、創作能力を高める
- (3) 内に秘めた想像力や空間認知能力を発揮させる
- (4) 余暇の時間を充実させる

(対象)

障害を抱える子ども達と保護者や支援者

* オンラインでの参加者も増やすなど、より開かれた場にしていく

(内容)

(1) リアル体験

- ・ 絵画造形教室(アトリエかもめ) [5～9月の期間に1回/月]
- ・ ウィンドウアート(講師:松永マサエさん)
- ・ フラワーアレンジメント教室
- ・ 笑い文字教室
- ・ 音楽教室(講師:伊東麻里さん)
- ・ 流木アート教室(流木拾いもあり)
- ・ スポーツ教室(サッカー・ティーバッティング等)
- ・ 珈琲のハンドドリップ体験

(2) オンライン体験

- ・ 粘土遊び
- ・ みんなで合唱
- ・ お絵かき大会
- ・ 親子でストレッチ
- ・ 親子でクッキング
- ・ 対話型アート(東京工芸大学デザイン学科 福島教授)

* コロナ感染拡大の状況に応じて、実施内容は柔軟に変えていく

* オンライン体験は各家庭で行える内容を想定

4. 【心のままアート展 2021】(会場展示とオンライン展示)

(目的)

- (1) アートを通じて、障害を抱える子ども達を身近に感じてもらう
- (2) 子ども達の将来の「しごと」や「やりがい」に繋げる
- (3) 地域社会、学校・教育関係や企業に会の活動を知ってもらう
- (4) 個々の表現を発表する場づくり
- (5) 障害を抱える子どもの保護者コミュニティの充実

(対象)

すべての人

(内容)

(1) 作品・啓発類の展示とワークショップ

芸術に触れながら障害についての現実を知り、身近に感じてもらえる作品・啓発類を展示する。また、作業を学び講師との関わりを深めるワークショップを開催する。

	<p>①障害を抱える人の作品・ストーリー展示 特別支援学校の児童生徒・0B、外部絵画教室等</p> <p>②障害についての解説・啓発類の展示 書籍・ポスター・マンガ・アプリなど</p> <p>③ワークショップ (講師・内容検討中)</p> <p>(2) 支援学校等で学んでいる就労に向けた作業実習の紹介 木工班・陶芸班・紙加工班・染色縫製班・ビーズ班・農耕班 ・園芸班・クリーン班の製品を紹介する。</p> <p>(3) 障害を抱える子どもの保護者コミュニティの充実</p> <p>①相談窓口(展示会場・紹介・HP・メール等) 展示会場やHP等の場を通じ、発達の遅れや障害の特性などに悩むお母さん達の声を聴き、支援していく。</p> <p>②HPの有効利用 『心のままアート展』への参加で興味を持って頂いた方々との繋がりが広がるよう、HPを活用したオンラインイベントやオンライン相談会などを実施する。</p>
--	--

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

【 障害理解 】

障害について関心を持っていただくイベントを通じて、ノーマライゼーションや誰もが暮らしやすい世の中への地域の方々の理解が深まる。

【 社会参画 】

障害を抱えていても、素晴らしい能力を発揮したり真面目に作業をするなど、十分に働き手としての力があることを知ってもらうことで、障害者が社会に参加する機会が増える。

【 雇用創出 】

障害者の特性や能力を活かした作業が増え、将来の「しごと」につながる。

【 コミュニティ構築 】

ノーマライゼーションの理解が進み、地域の中で多様な人々の「居場所」ができる。

【 知識・スキルの向上 】

母親のスキルアップにより知識・支援の質が向上し、同じ悩みを抱える母達などへのアドバイスがよりの確に行える。

成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>一般の方に障害理解を広めるために開催している『心のままアート展』や、他自主イベントの来場者数及びアンケート結果</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>2017年からのイベント来場者数の増加比率。アンケート内容。</p>
------	--	-------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>2016年に『障害者差別解消法』が施行され、誰もが教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる「合理的配慮」が求められています。 「合理的配慮」の考え方は、より良い社会を築いていく上で、配慮をしてもらう側、する側の双方にとって重要なものだと考えています。私たちが行う事業により、「合理的配慮」への理解促進や実現につなげていきます。</p> <p>母たちは、より専門性の高い指導能力を身に付けつつ、障害を抱える子ども達との関わりを重ねていきます。その中で、個々の特性に応じた作業を見だし、得意分野に焦点を当て興味関心を増やし、豊かな生き方の力になるよう多様な物事に触れる機会を作ります。 障害を持つ子の親にとって、コミュニティを増やす・参加するという事自体に躊躇が生まれやすく、孤立している人も少なくありません。当事業が仲間作りの一助となり、子にとってもいい影響をもたらすと期待できます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>障害のある人の創作活動を支援する事業や展覧会が全国で行われています。静岡県においても障害者文化芸術活動支援センターが設立され、障害のある人の文化芸術活動の普及を通して、障害のある人の社会参加と障害や障害のある人に対する理解も少しずつ進んでいるように思いますが、東部地域は県中西部に比べて障害者アートに携わる人が少なく、障害者アーティストの発掘・育成も遅れている印象があります。</p> <p>子ども達が楽しく参加できる創作活動を通じて、地域の方々による障害理解が進むように、じっくりとノーマライズなコミュニティづくりへの賛同者を増やしていきたいと考えています。 行政が全てを支えるのではなく、「出来る事を出来る時に出来る人が」の考え方で、障害のあるなしに関わらず、支え合うコミュニティを私たちのできる範囲で実現していきます。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>より障害理解のあるインクルーシブな沼津市になるため、私たちのスキルや活動が少しでも役立てばと考えています。誰もが暮らしやすい優しいまち・何度も訪れたいまち「ノーマライゼーション先進都市ぬまづ」を目指し取り組んでいきます。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>発達障害の特性の中には、一度習得した事はきっちりとやる、という優れた働き手の素質があります。お仕事体験などを通して子ども達の働く姿を広く知っていただき、卒業後も社会で必要とされる人として、継続支援を行っていきます。ここで構築した働き手を生み出す枠組みは、私たち母子の世代だけでなく、次世代の母子たちにも引き継いでいきます。 また、周囲の障害理解が深まっていくよう、仲間づくりやスキルアップをオンラインも活用しながら継続していきます。子ども達の将来のためだけでなく、保護者である母親達もやりがいや幸せを感じられるようにしていきます。</p>

<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>2017年より開催している『心のままアート展』では、多くの方々に観覧いただき、心温まるご支援を賜うことができました。子ども達の将来のしごとに関わる多くの企業・団体・個人とのつながりや地域に密着した関係性が広がってきています。</p> <p>子ども達の将来の「しごと」「居場所」を創っていくためには事業資金はもちろん、人間関係や信頼関係が重要となります。今後もしっかりと大切にした活動を継続しつつ、効果的な発信・周知に努め、活動の幅を広げていきます。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>私たちは、障害を抱える子どもを育てている中で、様々な葛藤や悲観・先が見えない不安など、多くの感情が溢れる日々を過ごしてきました。</p> <p>社会とのつながりが弱かった私たちでしたが、子ども達が学校などで集団生活を送るようになり同じ想いを抱える仲間と出逢い、苦悩や経験、感情を分かち合って絆が深まり、築かれた信頼関係のもとでコミュニティが生まれました。</p> <p>かつての私たちのように悩み孤立している親の救いや、親子で心身共に健やかな生活を送る手助けができたと思います。ひとりじゃない、仲間や理解者がいる。そう思える人が一人でも多く増えて欲しいと思います。</p> <p>素晴らしい仲間や今まで知り得なかった世界観を与えてくれた子ども達に、母たちの笑顔と楽しく活動する姿を見せたいと思います。</p> <p>今まで、周囲に迷惑をかける度に『ごめんなさい』『申し訳ありませんでした』と謝っていた私たちでしたが、『ありがとう』があふれる環境を、身の回りからつくっていきたくと思います。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

（2018年度スタート支援、2019・2020年度のステップアップからの継続応募です）

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

2020年度は、コロナ禍により例年のような創作活動や研修は十分にできませんでしたが、ステイホーム中には各家庭での作品づくりやオンラインでのコミュニケーション、作品の披露の場であるホームページ制作など、新たな環境でも実施できる活動を進めました。

先行きが見えない状況でしたが、4月に事業の集大成である『心のままアート展』を開催する方法をじっくりと考え、9月の会場展示から11月のオンライン展示に切り替えました。ネット環境があれば観覧できるオンライン展示は、様々な理由で今まで会場に足を運べなかった方にも届く新たな形であったと思います。

また、作品を目の前で感じていただき心に残るものになって欲しいという気持ちから、4月当初の計画に加えて、9月にららぽーと沼津で感染予防対策を取りながらの展示会も開催しました。

リアルとオンラインの両方の展示ができた2020年度は、可能性を感じるとても良い経験ができた年でしたが、コロナ禍での会場展示の難しさや、オンライン展示への気軽で継続的な参加の難しさも感じました。

オンラインの取り組みは、社会参加が難しい環境にいる方々にとっての新たなコミュニティ構築の場ともなり得ます。2021年度は、ミーティング・研修・創作活動・アート展の更なるオンライン活用を進めていきます。また、将来の子ども達の『しごと』や『やりがい』に繋げてい

けるよう、任意団体の法人化も見据えつつ「子ども達の作品の商品化」や「ウィンドウアートの仕事化」など自ら資金を生み出せる取り組みを進めていきます。